

●R5年度に「地域と学校の連携・協働体制構築事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
荒尾市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	令和4年度は、教職員の33.8%が、月45時間以上の時間外勤務を行っており、令和3年度の34.3%と比べても大きな軽減とはなっていない。令和5年度においては30%を目標値として少しでも軽減できるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援のボランティア人材の要請や地域との調整において、地域学校協働活動推進員ができる限りきめ細やかに対応することで、教職員の業務負担を減らしていく。 各中学校区2名ずつ配置している推進員を、必要な学校において随時増やしていくことで、学校と地域の連携を拡充する。 	地域と学校の連携・協働を拡充し、教職員の負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合(4月～1月まで)	33.8	%	30	32.2	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業支援のボランティア人材要請等において、推進員を増員したこともあり、教職員の連絡調整などの業務負担が軽減されたもの。 年度当初に学校を訪問し、推進員の紹介やボランティア人材の要請手順などの説明を行ったことで、学校においても要請がしやすくなるなど、事業の周知にもつながった。 全教職員に本事業を理解し活用してもらえるよう、さらなる周知に取り組み、目標達成につなげたい。